

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 7/23)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成25年7月22日 5時50分		平成25年7月22日 5時15分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約1.2Bq/L、Cs-134が約1.4Bq/L、Cs-137が約1.4Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海水核種分析結果

(データ集約: 7/23)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2-1)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成25年6月10日		平成25年6月10日		/	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	ND	-	/	/	60,000
全	ND	-	ND	-	/	/	-
全	ND	-	ND	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	0.26	0.01	0.15	0.01	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137, 南放水口付近の全 については、6月11日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約0.90Bq/L, Cs-134が約1.4Bq/L, Cs-137が約1.3Bq/L, H-3が約3.1Bq/L, 全 が約2.8Bq/L, 全 が約20Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果 < 1/2 >

(データ集約 : 7/23)

採取場所 (地点番号)	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層		請戸川沖合3km (T-D1) 上層		福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	平成25年6月5日		平成25年6月4日		平成25年6月4日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0023	0.00	0.014	0.00	0.011	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.0065	0.00	0.026	0.00	0.024	0.00	90
H-3 (約12年)	ND	-	ND	-	ND	-	60,000
全	ND	-	ND	-	ND	-	-
全	ND	-	ND	-	ND	-	-
Sr-90 (約29年)	ND	-	ND	-	ND	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 Cs-134, Cs-137については、7月12日公表。
 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。
 H-3が約3.1Bq/L, 全 が約3.6Bq/L, 全 が約19Bq/L, Sr-90が約0.009Bq/L。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

今回測定した試料からはH-3, 全 放射能, 全 放射能, Sr-90は検出されなかった。

海水核種分析結果 < 2/2 >

(データ集約 : 7/23)

採取場所 (地点番号)	福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層						炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年6月5日						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0037	0.00	/	/	/	/	60
Cs-137 (約30年)	0.0082	0.00	/	/	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	/	/	/	/	60,000
全	ND	-	/	/	/	/	-
全	ND	-	/	/	/	/	-
Sr-90 (約29年)	ND	-	/	/	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 Cs-134, Cs-137については、7月12日公表。
 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。
 H-3が約3.1Bq/L, 全 が約3.6Bq/L, 全 が約19Bq/L, Sr-90が約0.008Bq/L。
 ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

今回測定した試料からはH-3, 全 放射能, 全 放射能, Sr-90は検出されなかった。

海水中のPu分析結果

1. 測定結果：

(単位：Bq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
福島第一 5,6号機放水口北側	平成25年6月4日	N.D. [$<5.2 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<5.3 \times 10^{-6}$]
福島第一 南放水口付近	平成25年6月4日	N.D. [$<6.3 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<6.4 \times 10^{-6}$]
福島第一 敷地沖合15km上層	平成25年6月5日	N.D. [$<6.5 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<6.5 \times 10^{-6}$]
請戸川沖合3km上層	平成25年6月4日	N.D. [$<6.1 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<6.1 \times 10^{-6}$]
福島第一 敷地沖合3km上層	平成25年6月4日	N.D. [$<5.9 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<5.5 \times 10^{-6}$]
福島第二 敷地沖合3km上層	平成25年6月5日	N.D. [$<5.9 \times 10^{-6}$]	N.D. [$<5.6 \times 10^{-6}$]
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲(平成13年度～平成20年度)		-	ND $\sim 1.3 \times 10^{-5}$

[]内は検出限界値を示す

：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」
(福島県原子力発電所安全確保技術連絡会)

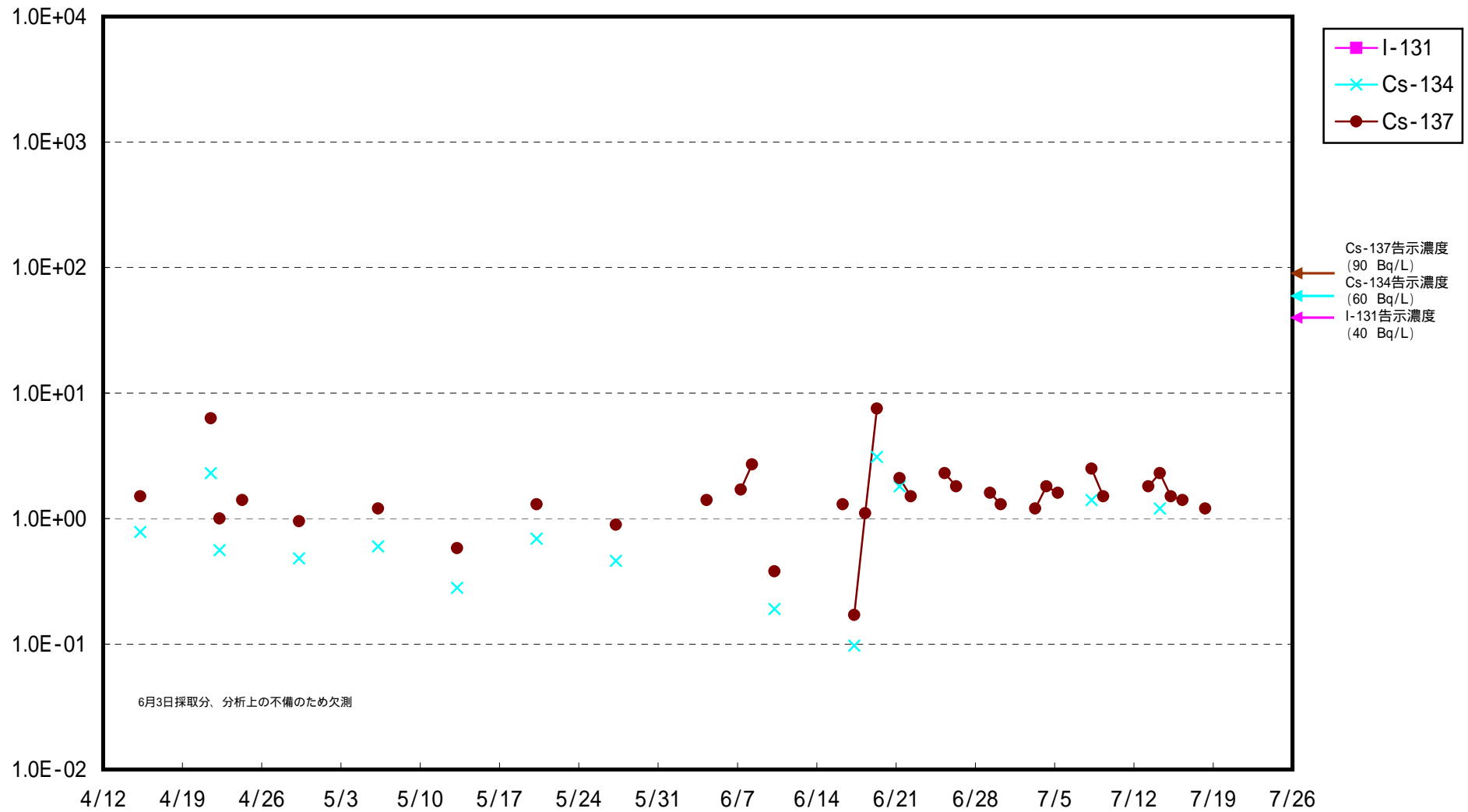
2. 分析機関：日本分析センター

3. 評価：

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+Pu-240は検出されなかった。

以 上

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

